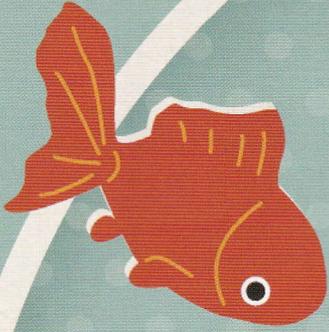


片山定期能 七月公演

一七十四ノ三



令和6年
7月28日(日)
午前11時開演
[午前10時30分開場]
於/京都観世会館

能「仲光・愁傷之舞」

青木道喜

狂言「萩大名」

茂山七五三

能「羽衣」味方梓

能「国栖・白頭」

橋本忠樹

ほか



片山定期能
楽会

11:00 能 仲 光 愁傷之舞
—ななみつ・しゅうしょうのまい—

シテ/藤原仲光
ツレ/多田満仲
子方/幸寿
子方/美女丸
ワキ/恵心僧都
アイ/仲光の従者
笛 杉 市和
小鼓 曾和 鼓堂
大鼓 谷口 正壽
後見 味方 玄
田茂井廣道

青木 道喜
片山 伸吾
田茂井律朗
味方 遥
宝生 欣哉
鈴木 実
地謡 片山九郎右衛門
浦田 保親
古橋 正邦
大江 信行
深野 貴彦
梅田 嘉宏
大江 広祐
浅井 風矢

演目解説

藤原仲光が主君多田満仲の子、美女丸と我が子の幸寿を伴って満仲のもとへ参上する。満仲は美女が学問を修行せず武芸ばかりしている上に、経を読めないのを見て怒り、斬り殺そうとする。仲光が制してその場は収まったものの、満仲は仲光に美女を討つように命じる。すると幸寿が美女の身代わりになることを言い出し、仲光は深く思い悩むも、ついに決心をして我が子の首を打ち、美女は落ちのびてゆく。仲光は満仲に美女を討ったと偽りの報告をするが、そこへ恵心僧都が訪れ、事の次第を打ち明ける。その言葉に満仲はようやく美女を許し、酒宴となる。仲光も悲しみを堪えつつ喜びの舞を舞う。やがて恵心は美女を連れて寺へ戻り、仲光は涙を流しつつ、これを見送るのだった。通常「男舞」は壮快到力強く舞うものであるが、この曲では暗い気持ちの中演ずるところに特色がある。「身代り物」というジャンルが人気を博した時代の源流ともいえるエピソードであるが、余りの理不尽さが際立つストーリーである。

狂言 秋大名 上演時間:約30分

12:10 狂言 秋大名<大蔵流>—はぎだいまよう—

シテ/大名
アド/太郎冠者
アド/亭主

茂山七五三
鈴木 実
茂山あきら
後見 山下 守之

訴訟の近づいた遠国の大名は、気晴らしに遊山を思い立ち、太郎冠者に相談する。冠者は清水の観世音にお礼参りに行き、その近くにある知り合いの茶屋の萩が盛りなので見物をしてはどうかと勧める。ただそこでは和歌を詠むことが通例になっているとのこと。冠者は聞き覚えの「七重八重…」という歌を大名に教えようとするが、大名はこれが覚えられない。そして庭に赴いた大名は、案の定ボロを出し始める……。

能 羽 衣 上演時間:約15分

休憩20分

13:00 能 羽 衣 —はごろも—

シテ/天人
ワキ/白竜

笛 齊藤 敦
小鼓 吉阪 倫平
大鼓 河村凜太郎
太鼓 前川 光範

味方 梓
原 大
地謡 味方 玄
浦田 保親
分林 道治
田茂井廣道
深野 貴彦
河村 和貴
宮川 卓也
青木真由人

駿河国・三保の松原に住む漁師の白竜は、松の枝に係っている美しい衣を見つけ、家宝にするため持ち帰ろうとすると、一人の女に呼び止められる。聞けばその女は天人で、衣がないと自分は天上に帰ることが出来ないとのこと。しかしそんな珍しいものであると聞いた白竜は尚更惜しくなり、衣を返すことを拒む。すると天人ははるか遠くの空に思いを募らせ、嘆き悲しむ。その姿があまりに哀れなので、白竜は天上界の舞を舞うことを条件に、衣を返すことにする。天人はこれを聞かぬや、喜んで羽衣を身にまとい、三保の松原の景色を讃えつつ舞を舞い、天の彼方へと帰っていくのだった。この曲はストーリーが簡潔なのに視覚的にも美しいことから、上演回数が多い人気曲となっている。富士山をバックとした風景と、天人の羽衣という至上的美しさを前面に押し出したつくりが清々しい。

能 国 栖 上演時間:約15分

休憩10分

14:25 仕舞 賀 茂

シテ/別雷の神

大江山

シテ/酒吞童子

天 鼓

シテ/天鼓の亡霊

—かも—

分林 道治

—おおえやま—

片山九郎右衛門

—てんこ—

味方 玄

地謡 武田 邦弘
河村 博重
大江 広祐
片山 峻佑

次回公演の御案内

片山定期能9月公演

令和6年9月21日(土)
午後1時開演
[午後0時30分開場]

能 「敦 盛」 青木真由人
狂言 「簸 屑」 小笠原由祠
能 「遊行柳 青柳之舞」 片山九郎右衛門

14:40 能 国 栖 白頭 —くず・しろがしら—

前シテ/里の老人
後シテ/蔵王権現
子方/浄見原天皇
ツレ/里の姥
ツレ/天女
ワキ/朝臣
ワキツレ/輿舁
ワキツレ/輿舁
アイ/敵方の雑兵
アイ/同行の雑兵

笛 森田 保美
小鼓 古田 知英
大鼓 石井 景之
太鼓 井上 敬介

橋本 忠樹
橋本 和樹
梅田 嘉宏
浅井 風矢
小林 努
宝生 尚哉
宝生 知哉
島田 洋海
山下 守之

地謡 橋本 磯道
古橋 正邦
片山 伸吾
河村 博重
分林 道治
味方 團
河村 和貴
片山 峻佑

入場料

[全席自由]

一般前売 4,000円
一般当日 4,500円
学生 2,000円
回数券 17,000円
(五枚綴)

チケット取扱所

京都観世会館
075-771-6114
9~17時 月休
片山定期能楽会事務局
075-551-6535
10~17時 土日休



会場/京都観世会館

京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩約7分

16:00頃 終了予定

▽出演者等の変更がある場合は御了承くださいませ。
▽見所内での写真撮影・録画・録音は固くお断り致します(指定業者を除く)。
▽同じく見所内での携帯電話やスマートフォンは、必ず電源をお切り頂きますようお願い申し上げます。
マナーモードも御遠慮くださいませ。